



学校だよりNO32

令和3年11月26日

児童数 473人

薫っ子



文責 校長 古川 次男

訓練しなければできません

先週の金曜日に、児童への予告なしの避難訓練を2校時目の休み時間に実施しました。大好きな休み時間のため、校庭で過ごしている児童が多くいて、近くには学級担任がいないという状況でした。

突然、校内放送で「これから、避難訓練を始めます。」の放送に戸惑う児童。近くにいた1年生は、「並んで」とか「集まって」などと自分たちなりに、避難への体制をつくろうとしていました。りっぱです。

続いて、「緊急放送・緊急放送。お話をやめて、静かに放送を聞きましょう。」の放送で、少し落ち着き始めた子どもたちですが、まだ少し、お話しは聞こえます。「その場で腰を下ろして、静かに放送を聞きましょう。」の放送で、一斉に口を結んで耳を澄ます子どもたち。その後は、放送をしっかりと聞いて、事前に学習していた経路を通り、それぞれの場所へ避難することができました。

地震や火事などの災害は、いつ起こるか分かりません。その際の対応については、日々の学級での指導を始めとして、今回のような避難訓練を通して、身に付けさせていきます。473人の命を預かる本校では、校内放送による指示が大切です。その指示をしっかりと聞いて、正しい避難行動ができるように繰り返し指導し、「自分の命は自分で守る」意識を高めています。



「打鼓音」による鑑賞教室を実施しました

16日(火)に鑑賞教室を実施しました。今回は、「打鼓音」による和太鼓の演奏を楽しみました。前半は1～3年生が鑑賞し、後半に4～6年生が鑑賞しました。約1時間にわたる演奏でした。桶胴太鼓と大太鼓によるパフォーマンス演奏あり、各種太鼓等の紹介あり、子どもたちの体験コーナーありと盛りだくさんの1時間でした。

おなかの底から響いてくるような迫力ある演奏に、たっぷりと浸った子どもたち。自然と、拍手や手拍子も出てくるようなにぎやかな演奏会となりました。

また、体験コーナーでは、各学年代表児童がステージに上がりました。右の写真にあるように、スタッフの指導の下、力強く大太鼓を打ち鳴らすことができました。

新型コロナウイルスの感染状況が、落ち着きを見せている今だからこそ実施することができました。もうしばらく、この状況が続いてほしいと願わずにはいられません。これから寒さが厳しくなり、今まで以上に感染症対策には気を使っていきたいと思えます。ご家庭のご協力よろしくお願いいたします。

